

「シートベルトの大切さ」

美幌町立美幌中学校 1年B組 根本 侑季

日々、ニュースを見てみると、視聴者の車のドライブレコーダーで撮影された、煽り運転の映像や衝撃的な重大事故映像などが、目に飛び込んでくる。どうして、交通事故はなくなるしないのだろう。

私は十歳の秋頃、釧路から帰宅戸途中、両親と三人で車に乗っていて、鹿と衝突する交通事故に遭った。

最初、何が起こったのか分からなかった。ものすごい衝撃音、両親の叫び声、ボンネットがめくり上がってフロントガラスが何も見えなくなったこと、急ブレーキの影響でシートベルトが引き締まったこと。私はやっと車にエゾシカが衝突したのだと気がついた。

初めての状況に気持ちが追いつけなかったが、帰ってくる途中の道路沿いで何度もエゾシカの親子と遭遇していたので、事故ってしまったのだなと判断し、泣くこともなく啞然としてしまった。

買い物帰りで、いつも通っていた阿寒の国道であったが、夜の十時過ぎ、運転手の父が道路わきで出くわすエゾシカに細心の注意を払って減速しながら運転していたが、下り坂のカーブが終わった途端、エゾシカはこっちに向かってそのま

まぶつかってきた。車は、フロント部分が大破し、自走する事ができない状態であったが、家族全員幸い無傷で済んだ。後部座席であっても、普段からシートベルトを着用したからだと思います。

事故当時、阿寒の峠のと真ん中で、携帯電話が通じず、対向車が殆どすれ違わなかったため、救助されないかもしれないことや、正面衝突で即死した横たわっているエゾシカを見て、ここで初めて恐怖におののきました。

事故後十分位してから、対向車のドライバーが、衝突事故で動けない私たちを気遣って携帯電話の繋がる場所まで父を連れて行って警察やJAFなどに連絡しました。事故車の中で父の帰りを待っていた時は、街灯もなく乗っている車のエンジンもついていないので、いつ車が爆発するんじゃないかと冷や冷やした記憶があります。

あの事故は、もっと注意を払っていれば防げた事故だったなど、父は言います。車の修理費用もかなりかかったと聞きました。だけど、シートベルトのお陰で無傷に済んだことが何よりで、今も何不自由なく過ごせています。

後部座席の同乗者は、高速道路以外の街乗りでは、シートベルトの着用率がまだまだだと思っています。「あの時シートベルトをしていたら・・・。」と後悔することが無いように、シートベルトやチャイルドシートのお陰を伝えていきたいです。